

S31c

ASCA Large Sky Survey X 線源の光学同定観測

秋山正幸、太田耕司（京大宇宙物理）、山田亨（東北大理）、木曾モザイクカメラチーム、
上田佳宏、高橋忠幸（宇宙研）、坂野正明、鶴剛（京大物理）、ASCA LSS チーム

Hard X-ray band における宇宙 X 線背景放射 (CXB) の起源は依然としてなぞに包まれている。その起源を明らかにするため、ASCA の 2 - 10 KeV での高い感度を生かし、Hard X-ray band においては今までにない深さで、 2×5 度という広い領域についての、X 線源サーベイが行なわれている。このサーベイの結果、これまでに 80 個近い X 線源が有意に見つかっている。

我々は Hard X-ray Band における CXB の起源となっている天体を特定するために、これらの X 線源の光学同定観測をおこなっている。

これまでに、

- 1.) Hard なスペクトルを示す X 線源については KPNO 4m において Multi Slit を用いた、重点的な分光観測
- 2.) 木曾での撮像データから銀河団候補とされた X 線源についてはハワイ大学 2.2m 望遠鏡において、その領域の深い撮像観測
- 3.) ROSAT SRC Catalog Sources と重なり位置がより狭い領域に特定できた X 線源については WHT において、ファイバーをもちいた分光観測を行なった。

この結果、20 個近い X 線源についてその正体が明らかになり、Hard X-ray band における CXB の起源の定量的解明に向かっている。今回は、以上の結果をまとめ、X 線源の光学同定の現状について報告する。また、1.) については特に詳細に口頭発表を行なう。